



NO.150/1973 (昭和48) 年10月号



NO.60/1966 (昭和41) 年3月号 (創刊5周年)



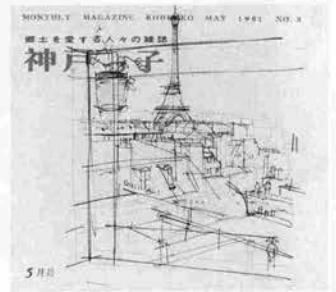
創刊号/1961 (昭和36) 年3月号 (表紙・川西英)



NO.179/1976 (昭和51) 年3月号 (創刊15周年)



NO.100/1969 (昭和44) 年8月号



NO. 3/1961 (昭和36) 年5月号 (以来、表紙・小磯良平)



NO.200/1977 (昭和52) 年12月号



NO.119/1971 (昭和46) 年3月号 (創刊10周年)



NO.50/1965 (昭和40) 年5月号

★小磯良平画伯の 表紙絵とともに

小磯良平没後10年特集を最後に、タウン誌月刊神戸の三十七年八か月のリトルマガジンスタイルからB5版の大型版形にかわるようになりました。

と、同時に、表紙絵、小磯良平の世界、も十一月号の「斉唱」を掲載して四五〇号をもって新しい表紙になります。

小磯良平画伯が戦後初めて巴里へ旅立たれ、その帰国作品のエッフェル塔のある巴里スケッチが昭和三十六年の五月号(創刊三三号)に登場した清々しさは忘れることができません。

小磯画伯のご縁をいただいたのは、当時神戸新聞の学芸部長であった青木重雄先生が関西学院大学のご出身で、後輩の小泉康夫前編集長(号)を御影のアトリエへ同行して下さったことが発端です。

私も宝塚のスターさんをモデルにとアトリエにご一緒したときが小磯画伯との初めての出会いでした。竹ベンがシュッシュシュッとシャープに走り、二十分ぐらいでデッサンが見事に出来上がったときは、名人芸の極致。しばし圧倒されて茫然とし、胸が苦しくなるほどの衝撃でした。

当時は、まだ表紙がモノクロしか使えず、そのおかげで描き下しのデッサンを数々掲載できたことは幸せでした。

ところが、東京芸大の大学紛争が激しくなり、小磯教授は学生との話し合いに、必ず出席され、多忙となられ描き下しから今迄に写した写真から使用することになったのです。聞くところによると他の教授陣は逃げている方が多かったそうで、最後まで学生たちと話し合われ、気骨のある小磯画伯の姿勢は、普段、静かで、穏やかなお人柄からは想像もつかないことでした。御影のアトリエへ毎月お伺いするうち、戦前の神戸話しをお聞きするのが楽しみでした。

朝、九時半に同って三十分。十時になると女性のモ

月刊 神戸っ子450号記念 表紙コレクション



NO.400/1994 (平成6) 年8月号「二人裸婦」



NO.300/1986 (昭和61) 年4月号



NO.239/1981 (昭和56) 年3月号 (創刊20周年)



NO.406/1995 (平成7) 年2・3月号 (創刊34周年・阪神大震災特集)「花」



NO.350/1990 (平成2) 年6月号



NO.250/1982 (昭和57) 年2月号



NO. 418/1996 (平成8) 年3月号 (創刊35周年)「婦人像」



NO.359/1991 (平成3) 年3月号 (創刊30周年)「彼の休息」



NO.299/1986 (昭和61) 年3月号 (創刊25周年)

デルがやってきて、デッサンが始まります。アトリエの北の窓からの自然光が制作のひとときを彩り、光と影の小磯芸術の一端を垣間見た思いで、先生が「絵の虫」のように思えました。

友人で詩人の竹中郁先生と作家の白川渥先生らと小磯画伯はよくゴルフにでかけられました。お仲間「萬難会」は、画伯のデッサンが賞品だと聞き、うらやましい限りです。

お嬢さんの邦子さんが巴里から帰られてからは、お孫さんも一緒にとなり、とても楽しそうでした。奥さまがなくなられてからの晩年は、毎朝、御影界隈をリハビリもかねて、邦子さんと散歩されておられ、絵を描くことに普段のたゆみない努力がなされていることを知り、その真摯な姿勢に頭が下る思いでした。

亡くなられた昭和六十三年十二月十六日は寒い日でした。甲南病院の主治医の宮崎先生とご縁があつてお知らせを聞き、御影のお宅へクリスマスチャンだつた画伯とお別れに伺えたのです。ご葬儀は神戸教会でした。没後十年。なんと時の流れの早いことか。

あれから、阪神・淡路大震災が起り、二、三月号を二月末に発行し、明るい花の絵が表紙を飾り、司馬遼太郎先生の「世界にただ一つの神戸」田辺聖子先生の「街は潰れても神戸っ子気質は潰れない」を初め三十数人のメッセージが、神戸っ子読者を励ました。

次号からB5版になる神戸っ子は、新しいスタイルを若いスタッフで二十一世紀への「夢」を賭けてスタートして参ります。

心から敬愛する小磯先生、長い間表紙絵をありがとうございました。レイアウトをご担当いただいた石阪春生先生、お世話いただいた嘉納邦子様に心より御礼を申し上げます。

幸あれリトルマガジン神戸っ子！

小泉美喜子
月刊神戸っ子編集長



祝 月刊神戸っ子450号

THE KOBECCO

21世紀の新しい神戸を見つめて
古きをたずね新しい工夫を重ねて
愛する街にクリエイティブな
文化発信を贈ります。

1998年11月

<p>財団法人 井植記念会</p> <p>理事長 井植貞雄</p> <p>〒655・0873 神戸市垂水区青山台1・21・1 TEL 078・751・5216 FAX 078・751・7696</p>	<p>株式会社 毎日放送</p> <p>代表取締役会長 齋藤守慶</p> <p>〒530・8304 大阪市北区茶屋町17・1 TEL 06・359・1123 FAX 06・359・3502</p>	<p>三輪運輸工業株式会社</p> <p>代表取締役会長 三輪吉郎 代表取締役社長 三輪武</p> <p>〒651・0072 神戸市中央区脇浜町2・11・1 TEL 078・251・5002 FAX 078・251・4525</p>	<p>淡路信用金庫</p> <p>会長 瀧川福市 理事長 瀧川好美</p> <p>〒656・0012 洲本市字山3・5・25 TEL 0799・222・1020 FAX 0799・222・6020</p>	<p>コーナン建設株式会社</p> <p>代表取締役社長 原 眞一</p> <p>〒651・0086 神戸市中央区磯上通6・1・9 KOBEMKビル TEL 078・221・6293 FAX 078・252・1350</p>
<p>株式会社 ドンク</p> <p>代表取締役社長 藤井太一郎</p> <p>〒658・0081 神戸市東灘区田中町3・19・14 TEL 078・441・2041 FAX 078・441・5858</p>	<p>有限会社 中林商店</p> <p>代表取締役社長 中林 淳</p> <p>〒663・8203 西宮市深津町3・5中林ビル(株)広葉内 TEL 0798・66・0941 0792・36・0281 FAX 0798・66・0969</p>	<p>デイティエスエス株式会社</p> <p>代表取締役 大下幸夫</p> <p>〒650・0023 神戸市中央区栄町通4・2・1 TEL 078・371・5900 FAX 078・577・3716 (代)</p>	<p>東洋紙業株式会社</p> <p>代表取締役社長 朝日徹夫</p> <p>〒556・8555 大阪市浪速区戸原1・3・18 TEL 06・567・2111 FAX 06・561・3003</p>	<p>有限会社 ティエスプラン 本社薬局朝霧ファーマシー</p> <p>代表取締役 霜寄敏文</p> <p>〒673・0866 明石市朝霧町3・15・12 TEL 078・911・1570 FAX 078・911・1576</p>



外国婦人頭部 1929(昭和4)年
コンテ・紙 26.1×43.5
神戸市立小磯記念美術館所蔵

<p>神戸文化ホール25周年記念 貞松・浜田バレエ団クリスマス特別公演 「くるみ割り人形」全幕 堤俊作／指揮 関フィル／演奏 12月25日(金)PM6:30開演 神戸文化ホール S5000円・A4000円・B3000円 TEL 078・8611・2609</p>	<p>みやび流押絵 家元二代目 小西絹甫 〒659・0065 芦屋市公光町3・15 TEL 0797・34・1000 FAX 0797・34・1001</p>	<p>一東書道会 会長 井茂圭洞 〒652・0802 神戸市兵庫区本木通4・1・19 TEL 078・577・1001 FAX 078・577・8567</p>	<p>財団法人 小原流 理事長 小原規容子 〒658・0063 神戸市東灘区住吉山手4・12・70 TEL 078・811・0871 FAX 078・843・0244</p>	<p>知香流 家元 成瀬香梅 副家元 成瀬香泉 〒657・0038 神戸市灘区深田町2・3・4 TEL 078・851・8113</p>
<p>神戸ネオトロピカル協会 会長 森 美代子 代表幹事 藤本ハルミ 〒650・0003 神戸市中央区山本通2・2・7 TEL 078・242・5690 FAX 078・222・5875</p>	<p>讃岐ごはんくらぶ 遠藤 寿代 〒761・8074 高松市太田上町783・4 TEL 0878・65・3637 FAX 0878・67・9457</p>	<p>桑原 泰業 〒651・1112 神戸市北区鈴蘭台東町9・7・26 TEL 078・591・5633 FAX 078・591・5633</p>	<p>ダンススタジオ ひまわり 主宰 瀬戸内美八 〒770・0866 徳島市末広5・19・1 TEL 0886・23・5810 FAX 0886・23・5810</p>	<p>株式会社 美容室エリザベス 代表取締役社長 八木美彩代 〒650・0021 神戸市中央区三宮町2・6・4・3F TEL 078・331・8894 FAX 078・331・4917</p>

神戸っ子'98

心の伝わる接客をめざして

武田 時子

＜(株)リリアン勤務＞



今年度のさんちか接客ロールプレイングコンテストのグランプリに選ばれた、紳士洋品リリアンの武田時子さん。全業種の予選を勝ち抜いた11名のさんちか販売員が、5分間に客役が投げ掛ける質問やクレームに対応し、接客能力を競いあった。

グランプリに選ばれたことが、武田さんの販売意識を大きく変えた。お客さまと接する度に「笑顔、姿勢、声の掛け方はよかったか」と心の中で反復し、より高いレベルの接客を心掛ける。

販売歴2年。店の中ではまだベテランとはいえない。仕事を始めたのは、とにかく働かなければ

ない状況に陥ったからというが、実は実家も商売をされており、「血は争えませぬ」と笑う。

本格的に店で働くのは初めてだった。「毎日、上司や先輩の接客を側で見るのがすごく勉強になった」という。

お客さまのほとんどは男性。退職して、何をどう着ていいかわからないと相談にくる人に「こんな意外な服も似合うんだ」と喜んでもらえることが嬉しい。「おしゃれする楽しさに気付いてもらうことが、洋服だけでなく他のいろんな事にトライなさるきっかけになれば…」という言葉に、武

田さんの精神が感じられる。

場所柄、地方から多くの人を訪れるさんちか。「神戸にさんちかがあり、さんちかにリリアンという店がある。その店に『あの人』がいるから寄って行こうかと、お客さまに思っていただけの販売員になりたい」。

11月12日には、他2名の入賞者と共に接客日本一コンテスト近畿予選会に出場する。

宇都宮

神戸っ子'98

流線型の翼に乗せて

衣川秀樹

〈三宮写真室 代表取締役社長〉

トアロードの名門、三宮写真室の二代目代表取締役として就任して8年。経営者として会社を盛り上げる一方、神戸青年会議所のメンバーとしての活動も持っている。

休日には趣味のラジコングライダーを楽しむ。全国でトップと言われる赤松のグライダークラブに所属し、国内の競技会では何回か入賞を果たしている。「高度で難しい趣味と思われがちですが、最近では価格も手頃なものが増えていきます。多くの人にラジコンの楽しさを知ってほしいという。上達の秘訣は上手な人に教えてもらうことと正しい理論を身につけること。色々なラジコンを経験

した中で最終的にはグライダーに落ち着いた。的確に飛ばすための操縦技術や気象の知識、条件に合わせた判断力など助力が無いが故に奥深い。写真の大型機は特別だが、ちよつとした公園で飛ばせるグライダーはいつも車に積んでいる。

TVゲームと違い、ラジコンは落せば壊れる。周りに迷惑を掛けないようにと注意をする中でマナーを覚える。根気強く機体を作り上げ、うまく飛んだときの喜びなど体験することは多い。「現代の子どもたちこそ、模型飛行機を通して仮想ではないリアルな体験をしてほしいですね」。

神戸のお嬢さん

〈256〉

子どもに安らぎをあたえる笑顔
古田 和香子さん

（社団法人家庭養護促進協会ケースワーカー）

大学で社会福祉を勉強し、社会福祉士の国家資格を取得。卒業と同時に、親が育てられない子どもたちに里親を求める活動が続けている民間の児童福祉機関「家庭養護促進協会」にケースワーカーとして勤務し、一年半になる。なかなか困難な仕事であるだけに思うように進まないことが多いが、もちまへの明るい性格と

写真のような若々しい笑顔で積極的に何事にもとりくんでいる。
「子どもがよい笑顔を見せたり、成長していく姿を見るのが楽しい」というのがケースワーカーとしての今の思いでもある。スキューバダイビングを習ってイルカと泳ぐのが夢、という現代的な女性である。

推薦者

橋本明

社団法人家庭養護促進協会事務局



神戸のお嬢さん

(257)

神戸のまちを愛する心とともに
佐々木 久子さん

（株式会社関西総合研究所研究員）

「震災で華やかな神戸のまちが、一瞬にして姿を変えてしまった。自分も、大好きなこのまちの再生にかかわりたい」当時、立命館大学産業社会学部の学生だった彼女が、まちづくりを専門とする私の研究室を訪れたきっかけは三年前の大震災でした。

その後、彼女は私の研究室に所属し、被災地をはじめとする地域で実践的にまちづくりを学び、修士課程を経て今春、都市開発コンサルタントの職に就きました。ちよつと勝ち気でバイタリテイのある佐々木さん、今後の活躍を期待したい女性です。

推薦者

立命館大学産業社会学部教授

乾 亨





↑神戸アーティストの集い'98開く

9月25日、生田神社会館で神戸アーティストの集いが開かれた。今年新しく兵庫県立近代美術館の館長に就任した木村重信さんを迎え、神戸を中心に活躍中のアーティスト達が一堂に会し、親睦を深めた。



↓まなびピア兵庫'98スタート

9月30日、「まなびピア兵庫'98」の開会式が行われた。前夜祭では三枝成彰さんのコンサートも開かれ、フェスティバルが華やかにスタートした



神戸スナップ

↓子ども達が源平武者行列を再現

9月26日、源平ゆかりの地、須磨ではじめて、源平に扮した子ども達による行列があった。一行は網敷天満宮を出発して須磨寺までを往復し、華やかな時代の歴史絵巻が繰りひろげられた



↑トヨタ試乗センター、「RIDE ONE」デビュー

9月26日、地下鉄西神南駅の西隣にトヨタの全チャネルの車を気軽に乗り比べられる試乗センター「ライドワン」がオープンした。実費程度でレンタルでき、一般道を試乗することができる



↓ふれあいフェスティバルはなやかに！

夏を思わせるような晴天の10月3,4日、明石城公園にてふれあいフェスティバルが催された。アジア地域を中心に国際色豊かなブースが並び、訪れる人々を楽しませていた。セレモニーではふれあいの祭典10周年を記念して公募された、合唱曲「いくたびか」が500人の県民大コーラスによって披露された





← ↑ '98 KOBE JAZZ STREET大盛況

10月10日から11日にかけて、'98神戸ジャズストリートが華やかに繰り広げられた。地元はもちろん、遠くからたくさんのジャズファンが詰めかけた。NHK神戸跡では、神戸ふれあいパーク'98と題し、チビッ子に人気のキャラクターと写真が写せるコーナーや、異人館を描いた村上美穂さんの絵の展示などのブースが並び、大人も子どもも楽しんでいた。また、ステージには、来年の大河ドラマに出演する中村勘九郎さんと東山紀之さんがかけつけて、復興する神戸にエールをおくった



参加した各店では、ライブがおこなわれ、たくさんのお客さんがジャズのリズムに揺れていた
写真上：SONE 写真下：味加味



↑ 没後10年小磯良平展で西洋画の本流を再現

9月12日からの「没後10年小磯良平展」が11月8日で終幕。来館者は、日本人が摂取した西洋画の本流に魅せられた。レセプションに出席した画伯の次女・嘉納邦子さんは、お気に入りの「肩掛けの女」の前で。門下生の石阪春生さんら新制作協会のみなさんも駆け付けた



↓ 国際フィルハーモニー管弦楽団国際親善ツアー

10月6日、国際フィルハーモニー管弦楽団国際親善ツアーの神戸公演が神戸松方ホールにて行われた。開演に先立ち文化活動に長きにわたり支援を続けているモンブラン社により、レセプションパーティーがハーバーランドニューオータニで開かれた。国境を越えて若い音楽家を育てていく同楽団の姿勢にモンブラン社が賛同し、各地での公演は成功を修めている。写真はレセプション会場を訪れた指揮者兼ピアニストのユストス・フランツ氏（左）とモンブラン ジャパン社社長ジャン・パトリック・シュミッツ氏（右）



← しあわせの村でフェア開催

第9回こうへ福祉・健康フェアが、秋晴れの10月11日、しあわせの村で開かれ、さまざまな催しが開かれた。バザーや模擬店がたくさん並び、ステージではゴジラのショーや、手話通訳付きの漫才がおこなわれ、楽しいイベントとなった





創業115周年を迎え、

英国王室エリザベス女王ご用達の “ハーディ・ミニス社”と提携

輸入毛織物専門商社として、企画提案型の「スタイリングハウス」をめざしてますます飛躍する柴田グループの柴田音吉社長をお迎えし、21世紀に向けての抱負を語っていただいた。

中西悠花さん VS 柴田音吉社長

サロン・デ・モード中西勤務

柴田グループ代表取締役



115周年を迎えて

中西 創業115周年おめでとうございます。さぞ感慨がわいていらっしゃるでしょう。

柴田 はい。大震災も乗り越えることができ、運がよかったです。明治16年に初代柴田音吉が日本人で最初のテーラーとして元町3丁目を開店してからです。

秘訣は「本業以外は手を出さないこと。手づくりの仕事に徹すること。紳士物を中心に手掛けること」です。

中西 なるほど。ポリシーを掲げるがさず家業を全うするということですか。でも、ポリシーを持っても作り手がいないと。その点、先程工房を見せていただきましたが、職人さんがたくさんいらっしゃるんですね。

柴田 ええ。経験40年の超ベテランの職人さんを始め、経験20年以上の職人さんが中心となって働いています。本店では、職人さんもモーニングのスラックスにグレーのベストを着て誇りを持って仕事をしています。このように実際にハンドメイドのプロセスをみていただくことで、お客様に安心感を持っていただけているようです。おかげ様ですごく好評ですよ。

中西 とここで、115周年を機にフランスのドーメル社に変わってハーディ・ミニス社と提携されたということですが。

柴田 そうですね。ドーメル社とは、1915年以来3世代83年にわたる取引関係

係でしたが、量販志向を強めるドーメル社との販売方針の不一致により終止符をうちました。

しかし、唯一の英国王室エリザベス女王ご用達の毛織物商社ハーディ・ミニス社との提携が成立し、来春物より「J&Jミニス」のブランド名で英国服地の紳士と賞賛される、極上の紳士服地をお届けできる運びとなりました。このブランドは世界50カ国に輸出され、英国のマリーチャントとして最初に日本に輸入されたロイヤル・マリーチャントとしてプレスティングなイメージが高く、ハンドメイドの最高級オーダー向けです。

中西 他のブランドも考えていらっしゃるのですか。

柴田 同社のもう一つの英国王室ご用達ブランドである「ジョン・G・ハーディ」を来秋・冬から展開します。これはチャールズ皇太子の愛用です。

中西 今迄より一層高級なイメージで、柴田グループにとってもプラスになる提携だったのではないですか。

柴田 初代音吉も明治天皇陛下のお召し服を誂え、現在も今上天皇陛下に服地をお納めするといった共通点があるし、高級品マーケットに限定した販売方針も一致しています。

これまで、ミニス社はそんな大々的には活動していなかったんですが、これを機に有名デパートのオーダー売場や一流テーラーにどんどん入っていくでしょう

し、今後すでに展開しているジバンシイ、クリツイアと並び、核になるブランドです。

中西 115周年は転換期だった訳ですね。非常にうまく、時代の流れを見極められた気がいたしますが...

柴田 おかげ様で。3つのMがすごく大事なんです。これは「マリーチャントダイジン」(商品企画・開発)、マリーチャントダイジン(商品企画・開発)、マリーチャントダイジン(販売促進)、マリーチャントダイジン(販売促進)ですが、これらは三位一体で決して一人歩きしないんですよ。特に重要なのがマリーチャントダイジンだと考えています。

21世紀に向け、新しいオーダーメイドの形を追求

中西 手づくりのビジネスに力を注がれていると伺いましたが、具体的にはどのようなものなのでしょうか。

柴田 服地の仕入れも私自身でおこなっています。洋服づくりも、熟練の技術の粋を尽くして作りあげるハンドメイドの伝統を守りつつ、新しいオーダーメイドの形「スタイルオーダー」で、企画提案型のスタイリングハウスをめざしています。

中西 スタイルオーダーというのは、どのようなものなのでしょう。

柴田 これは私が考案して名付けたものなんです。店頭にスタイルを提示し、お客様に実際に着用していただいて、



「エリザベス女王ご用達の証明のため」を持つお二人



本店「欧風館・神戸」

それに基づいて服をおつくりするというものです。仕上りのイメージを分かっていたことが目的なんです。

中西 お客様の好みもと入れられるのでしょうか。

柴田 ある程度どんなスタイルも可能ですが、原型は崩さないのが基本です。

中西 スタイルオーダーのメリットはどのようなところにあるのですか。

柴田 そうですね。ハンドメイドは職人さんが少なくなつて値段が高い。25万円30万円はします。かといって、既製服では、生地もスタイルも限定される。その点、スタイルオーダーは生地の種類は豊富だし、クリツイアやジバンシイのマス

タースタイルを使用して専属工場とタイアップしてつくるので、値段もそこそこでいけます。15万〜20万円位でしょうか。

柴田 オーダーとブレタの中間といえますね。銀座の高級クラブ同様、注文洋服つて外から見ただけでは値段も出来上りも分からなくて初めての人は少し不安でしょう。そういった面でもスタイルオーダーはすごく受け入れられてきていますよ。すでに百貨店のコーナーで展開して大成功しております。

中西 最近ではレストランにしてもオープンなものが流行っていますものね。

柴田 グループではどのようなブランドが扱われているのですか。

柴田 5つの主力ブランドで構成しています。英国の「J&Jミニス」は高級ハンドメイド専門。「クリツイア」と「ジバンシイ」はハンドメイドとスタイルオーダーの両方をカバーするように考えています。ファッショ性の強いロンドンのデザイナー「リチャードジェームス」とミラノを基地に最先端のスタイルリストブランドとして脚光を浴びている「フランコ・フェラーロ」(来春予定)はターゲットを若い人向けにしています。プライスは10万円前後でしょうか。

中西 価格もお手頃で、日本のデザイナーズブランドと変らないのですか。

柴田 そうなんです。ですから若い方も気軽に百貨店のコーナーに足を踏み入れてくださればと思っています。



For The Prestige Fashion Life
SHIBATA group
SINCE 1883

本社 〒650神戸市中央区元町通 4-2-22 TEL.078-334-2250
西日本営業本部 〒541大阪市中央区高麗橋 2-1-11 (柴田グループ第3ビル)
東日本営業本部 〒104東京都中央区八丁堀 2-21-11 (柴田グループ第7ビル)
ヨーロッパ事務所 7.VIA DEL VECCHIO POLITECNICO, MILANO

柴田商事株式会社
東京柴田商事会社
金門株式会社

株式会社柴田音吉商店
有限会社オー・エス・ソーイング
株式会社サンロイヤル

柴田不動産株式会社

ポイントを集めるとお買物券をプレゼント。
そごうポイントカード

(会員募集中)

●ご入会から1年間は特別に
お買い上げ100円につき
8%のポイントをプレゼント。

次年度からは、お買い上げ金額に応じて
7%から最高10%のポイントがつきます。
2,000ポイントごとに2,000円分の「そごう
ポイント券(お買物券)」と交換いたします。



●初年度は年会費無料。
2年目から300円と、お得です。

●ご来店ポイントとして
1日1回に限り
10ポイント進呈。

ご来店ポイント受付けは午前10時
～午後7時30分とさせていただきます。

ご入会受付

お申し込み、ご相談はそごうポイントカード
承りカウンター〈本館9階〉でどうぞ。

運転免許証などご本人さまを証明できるものと、銀行お届け出印をご持参ください。
※審査により、ご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。

この街で皆さまとともに。



期間 11/13(金)～23(祝)

期間中、さんちかレストランモール全店では
カニづくしフェアを開催します。どの店も冬
の味覚、カニを使った特別メニューをご用意
しています。それぞれのカニの味をご賞味下
さい

和風料理 千人代官酒居	麺類・丼物 東京そば 正家
ラーメン 北海ラーメン	日本料理 北の浜
焼鳥・酒肆 羨門	季節料理・寿司 さかえや
サラダ料理 赤ひょうたん	麺類・丼物 錦そば
とんかつ とんかつK Y K	和風料理 食処 破り子
焼き鳥・おでん こけこっ子	喫茶・洋菓子 ケーニヒスクローネ
お好み焼 神戸お好焼倶楽部	寿司・和食 福寿し
広東名菜 黄老	酒房・和食 瀬



味の街 レストランモール

〒650-0021神戸市中央区三宮町1-10-1

TEL.078(391)3965

営業時間／AM10:00～PM9:00(オーダーストップ)
(物販店はAM10:00～PM8:00)

santica
The New Heart of Kobe 神戸・三宮さんちか

★ 祝 月刊神戸っ子450号記念 ★

文化と芸術との新しい出会いが、このホールから始まります

’99年6月1日 **神戸国際会館** グランドオープン!

大ホール「こくさいホール」・貸会議室ただいま御予約受付中

クラシック音楽から演劇、日本舞踊まで幅広く使用できるホールは、客席数2,022席。あらゆる催物に対応できる設備を導入し、ハンディキャップのある方やお年寄り、子供連れの方にも安心して鑑賞していただけるホールです

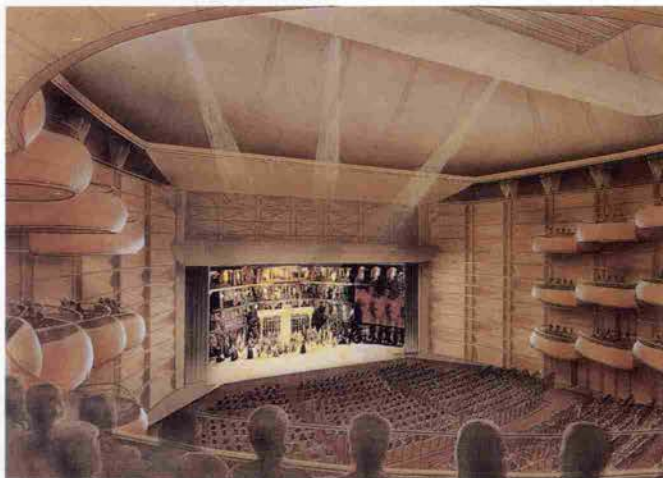
ホール使用料

区分	平日	土・日・祭日
午前 (9:00~12:00)	220,000円	300,000円
午後 (13:00~16:30)	380,000円	550,000円
夜間 (17:30~22:00)	550,000円	630,000円
終日 (9:00~22:00)	780,000円	980,000円

(消費税別)



お問合せ先／(株)神戸国際会館ホール事業部
TEL.078-231-8162 FAX.078-231-8120



■客席

1階/1,338席 M2階/32席 2階/326席 3階/326席 計2,022席

■舞台

間口/21.6m 奥行/18.0m 高さ/9~12.6m (可動プロセニウム方式) 舞台迫/1.8m×7.2m 1基 (3分割) 花道迫/1.2m×1.8m オーケストラボックス/3分割 (約80㎡)

“PLAZA Urban Christmas Present”
プレミアムセール

セール期間中、プラザ名店会で買い上げのお客様に抽選券を進呈!!

抽選期間 12月1日(火)~12月13日(日)13日間

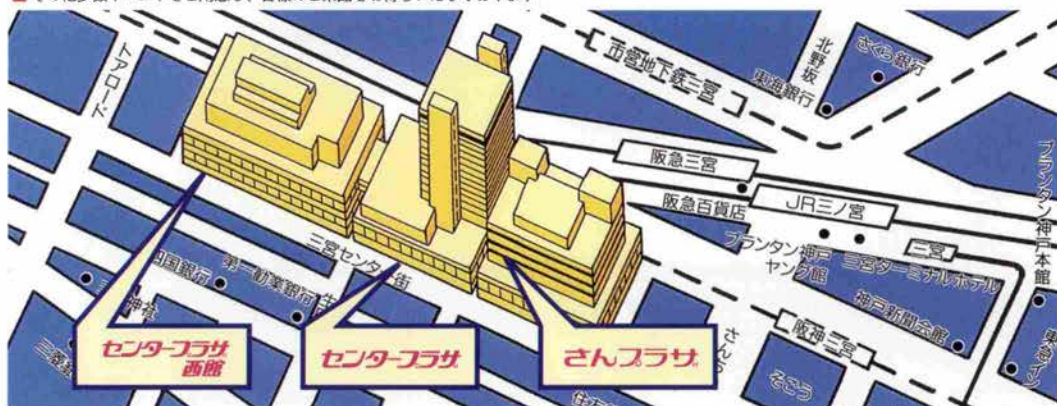
賞品[特等] サンタの国フィンランド オーロラ観測6日の旅ペア2組4名様

- [1等] 札幌雪まつりとグルメ2泊3日の旅ペア5組10名様
- [2等] ホテルオークラディナーチケット 10組20名様
- [3等] プラザ5千円お買物券 300名様
- [4等] OSシネフェニックス映画鑑賞券 1,000名様
- [5等] 宝塚ファミリーランド入場券 1,000名様

- [6等] プラザ500円お買物券 5,000名様
- [7等] キリン[神戸ビール]またはジョース 3,000名様
- [末等] チョコレート もれなく
- [セントラルパーク賞] ペア入場券 30,000名様



- 12月1日から27日までの17日間、オープン懸賞プレミアムセールも同時開催!!
- その他多数イベントをご用意し、皆様のご来館をお待ちいたしております



※ 駐車場313台収容 料金 30分 250円



'98 トアロードクラフトアートフェア

秋色に輝くKOBETORROAD。今年、第2回目を迎えるトアロード・クラフトアートフェアが開催された。当日は、連日の雨模様が続いたように晴れ渡り、テントブースに並ぶアーティストックな作品が訪れた人々を魅了した。

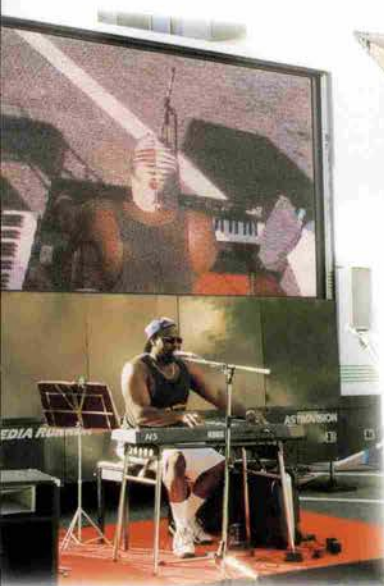
—10月3・4日—



←参加アーティストに提供してもらった作品を、チャリティーオークションにかけた。売上金は、トアロード・クラフトアート文化基金（クラフトマンを育てる為のもの）に役立てる



↑オープニングセレモニー（10月3日）東ジャワの伝統木彫工芸を伝えるヘリー・バスキー氏を特別ゲストに迎えてのテープカット



↑昨年、好評だったキース・ボーダーによるライブ。甘い歌声に酔いしれた



↑「建築少年」の河井敏明さんを中心に、京都の大学の建築家の卵たちが試作 TENT を制作。立派すぎて、「来年は舞台に使う！」という声も...



↑「エクステンション」トアロードの美容室の人々が集まって、神戸ヘアクラフトマンクラブを結成。刺繍糸を髪に巻き付けるロンドンのストリートスタイルが、若い女の子に大人気だった



↑三宮神社で行なわれた「エンジョイペインティング（スケッチ大会）」（10月4日）は、多数の絵画愛好家が描き、優秀な作品には「神戸風月堂賞」「北野工房のまち賞」が贈られた



↑「みんなの絵手紙教室」ハガキに筆で思い思いの絵を描いて楽しんだ



街角に並ぶクラフトアートのテントには、各アーティストの力作が並んだ！→



TOR ROAD CRAFT ART FAIR '98

欧風レストラン

HIGHWAY
ハイウェイ

神戸市中央区下山手通2-13-7東昌ビル1F
TEL.078-331-7622

11:00~15:00 17:00~21:00
月・第3火休(祝日・振替休日の場合翌日代休)

La Rucolla de Villa

神戸市中央区下山手通2-5-6中央ビル2F
TEL. 078-393-0646
OPEN. 11:30~24:00
HOLIDAY EVERY MON

クロス

神戸市中央区北長狭通3-12-1
トアロード本店 TEL.078-391-1781

洋家具・ヨーロッパインテリア装飾品

カワナミ
河南工藝社

神戸市中央区三宮町2-9-7
TEL.078-331-2992
10:00~19:00 (年中無休)

トアロード商店街
東亜会協同組合

理事長 上根 保

神戸市中央区三宮町3-1-16
TEL.078-321-3343

トアロード
中央商店街復興組合

理事長 清水 俊夫

神戸市中央区北長狭通2-5-9
TEL.078-332-0139

中華料理
神仙閣

SHINSENKAKU

神戸店 神戸市中央区下山手通2-13-1
(生田新道トアロード寄)
TEL.078-331-1263 FAX.078-391-1992
梅田店 大阪市北区梅田1-3-1-1200
(大阪駅前第一ビル12階)
TEL.06-341-4071 FAX.06-345-5094

三宮神社



↑サンドブラスト、フェージング、宙吹きガラスなどプロの技を見た佐田健治さん



↑「遊び心のある陶芸品を…」と根本博幸さん。撮影やショーウィンドウのディスプレイにもよく使われるという



↑魔女が空を飛んでいる才川一美さんの世界がテントの中に広がっていた



ヘリー・バスキ
クラフトマンブース

↑長旅でお疲れだったので、残念ながらバスキーさんの木工への挑戦は見れなかった



↑須磨離宮公園の現代彫刻展でも兵庫県立近代美術館賞をうけた外嶋秀紹さん。「ギャラリーD E C O」のオープニング展にも出展した



↑ハンドメイドの皮革製品のバッグが並ぶ田中幸樹さんのテントブース



↑ロマンティックな夢の広がる佐々木雅美さんのツールペインティング



↑シルバーアクセサリーの中富姉妹。「目玉商品に、1000円の指輪を作ったら、そればかり売れちゃいました」



↑ぐにゃぐにゃとした椅子、お尻の座り具合がためされるあぐら椅子を出展した稲田貴志くん。ユニークなアートラジオの「ラジラジオ」の二人も個性的

TOR ROAD CRAFT ART FAIR '98

トアロード・クラフトアートフェア実行委員会

会 長 小泉美喜子 (トアロード中央商店街振興組合)
委員長 梁 建緯 (トアロード中央商店街振興組合)
委 員 末積 隆夫 (トアロード商店街東亜会協同組合副理事長)
辻井 哲夫 (トアロード中央商店街振興組合副理事長)
清水 俊博 (トアロード中央商店街振興組合)
岸田みちの (トアロード中央商店街振興組合)
小泉 昭子 (トアロード中央商店街振興組合)
梁 建宏 (トアロード中央商店街振興組合)

飯島 進 (トアロード中央商店街振興組合)
伊藤 和弘 (トアロード中央商店街振興組合)
村上 恵子 (トアロード山手会)
有本 義則 (トアロード山手会)
矢代 恵 (MEG建築設計事務所)
河井 敏明 (建築少年)
永田 耕一 (元町東地域協議会)
大原 哲誠 (神戸商工会議所中央支部)

実行委員会事務局 (神戸商工会議所中央支部内) 〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-9-1-805 TEL.078-331-0012 FAX.078-331-0065
皆様のご協力を得て、楽しいトアロード・クラフトアートフェアとなりました。来年も頑張ります。ありがとうございました。

★トアロードに神戸復興の華

「(社)中華会館」会館

■11月18日に竣工・オープン！



中華会館完成図



東亜ホール (7F)

山から海へ、トアロードの坂道をふきぬける秋風が爽やかだ。

10月3日・4日の「トアロード・クラフトアートフェア」と「北野工房のまち」の「神戸マイスターフェスティバル」の成功とNHK神戸放送局跡地で開かれた10日、11日の「神戸ジャズストリート」の賑わい

は、インターナショナルなムードが坂道に満ち溢れた。また15日には「神戸外国人倶楽部」がオープン。

そして11月18日、波のような屋根のラインと、品のいい縦のチャイナ風な柱をデザインしたスマーтона7階建の「(社)中華会館」会館(李睿明理事長がオープンする。

「由緒あるトアロードのメインストリートなので、カーブを描いた屋根は山並みや、雲をイメージし、縦の10本のラインは華僑の人々の団結力をデザインしています」と(株)AAA総合設計副室長の芝由文さん。施工にあたった小林英博(株)大林組中華会館下山手工事事務所所長は、現場から「何しろ生田新道とトアロードの交差点地帯なので、地下の解体や工事の音に気を使いました。品格のある建築物を」とモラルのあるステディな作業をする「が合い言葉でした」震災後の平成8年4月末から1年半、見事に風格あるおしやれな

社団法人
中華会館

神戸市中央区下山手通2・13・9
TEL 078-392-2711

株式会社
スリーエース
AAA総合設計

大阪市北区本庄西1・9・15
朝日プラザ北梅田
TEL 06-359-7230



株式会社
大林組

神戸支店／神戸市中央区西町35
TEL 078-332-6401

中華会館が完成した。

洗恵昭(社)中華会館副理事長管理部長は「11月18日10時半が落成式、1週間は祝賀プログラムを『東亜ホール』(7F・2000人収容)で開きます。名付け親は山手会会長の中西省吾会長。

6階は事務所と会議室で、神戸華僑の拠点であり、中国文化の発信地。この新しい空間を神戸と世界の人々との交流の場にと願っています」とニコリ。

現場事務所にて。小林所長と芝さん



トアロードに19日Open(中華会館内)

- ・カラオケBox「ゆー坊」(2F・4F)
- ・ビデオショップ「TSUTAYA」(1F)

「震災から立ちあがるためにぜひ協力をと、洗さんや(株)大林組の林伯正さん(神戸支店・営業第5部)に要請されまして、私どもも神戸復興に一役を担おうと頑張りました。トアロードは、今神戸で最も注目されているストリート。店もトアロードらしさをと看板などにも品の良さを取り入れています。

新しい神戸の楽しい名物にしたと張り切っていますのでよろし



カラオケ「ゆー坊」

中華会館が、三宮の不景気をふつとばす震源地になつてほしいもの。
10月1日から神戸市の景観形成条例の第一号認可を受けたトアロード。ハイカラの伝統を脈々と受け継ぎ、新しい「華」が咲いた。



小林部長

くお願いいたします」と(株)大阪有線放送社・東兵庫地区管理部の小林弘司部長は意欲的。
1階のビデオショップ「TSUTAYA」は三宮に初登場。ビデオ2万本、CD2万枚を揃える大型店だ。
2階から4階はカラオケBoxが46室も。40人入れるカラオケルームやお座敷スタイルもあるので、若い人にもアダルトにもOKだ。

株式会社 大阪有線放送社

本社／大阪市中央区高津3・15・5
TEL.06-6443-2006
東兵庫地区管理部／神戸市中央区三宮町3・7・6神戸フクトクビル8F
TEL.078-333-0101

11月19日木曜日 11月19日木曜日



レンタルビデオ
トアロード店
OPEN

TEL.078-392-8855



全46室
カラオケ ゆー坊
神戸トアロード店
OPEN

TEL.078-392-0440

あらゆることがボードレスの時代 世界に広がるアサヒビール

月刊神戸っ子
450号記念
特別対談



「いいね、神戸っ子くっして」神戸メリック・パークオリミナルホテルの海を望む「ル・コニー」店主・蔵人の瀬戸社長。「花火のときはここから見るのが一番」と誇りげに語った。

日本のビール業界でトップブランドの地位を築いた、アサヒスーパードライの立役者、瀬戸雄三社長。その気さくな人柄は、神戸支店時代とちっとも変わらない。38年来の友人でもある神戸の老舗 バー・トム・キャンティの榊晴夫氏と久びさに神戸で歓談。世界のビール市場を展望し、中国・アメリカ・ヨーロッパとインターナショナルなブランドになっていくアサヒビールの姿勢を語っていただいた。

瀬戸雄三 VS 榊 晴夫

(アサヒビール社長)

(バー・トム・キャンティ・オーナー)

お互いに紅顔の美青年だった

「このただならぬご関係はいつごろからですか。」

榊 僕が店をして35年やから、その前のブルリーボンときで、ほろにが会のゴールドクラブのメンバーやったところからやからね。瀬戸さんは一番に会場に行つてて会場の準備とか真先にやつてはったもんね。

瀬戸 お互いに若かったころ。そう、紅顔の美青年やつたころや。

僕は昭和31年の10月に仕事で神戸に來たんですから、それからしばらくして榊さんとブルリーボンで知り合つた。僕らは、夜な夜なご挨拶にお得意先をまわるのが仕事ですから、榊並正三さんとか小曾根真造さんとか神戸の我々にとっては恐れ多い人がいて、あの方々が神戸のバー文化、食文化を築いていったんでしょうね。

榊さんのようにキャラクターのいい人というお客さまの両方で、神戸の人たちも憩いの場を得られたでしょうし、バーをやつてらっしゃる方もレベルをあげることができたでしょう。当時、第一線でお客さまとずっと接しておられた方ががんばって

おられて、こんなに息の長い仕事を
してる街って、ちよつとないんじや
ないですか。

榊 そこが神戸のええところで、開放的
で受入れ体制もすごい習慣をも
ってるしね。ものすごくおちよこ
ちよいで、ちよつと誉められたらす
ぐ木に登るほうだからね。

瀬戸 神戸に来てアカデミーが神戸
最古のバーやいうんで、行ったらお
やじさんが「あんた、瀬戸はんの息
子か、あんたのおやじさん一滴も飲
まなかったけど、時々来てくれた」
いうてね。今もあるでしょ。それと
同じようにキャンティの榊さんは、
戦後の新しいバーの流れを作った人
ですよ。彼は違った意味のホスピタ
リティがありますよね。それに仲間

もいいですよ。

榊 パーテンドー協会の
40周年記念のイベン
トがあったとき、その
ころのパーテンドーが
5人残っていたんや。
岡野公一さんと岩崎利
之くんと岩田弘美く
んと小西国義くんと僕。

瀬戸 ところでトム・

キャンティも35周年やそうで、おめ
でとう。

榊 ありがとうございます。

瀬戸 それに偉い賞もたくさんもら
ったそうやね。

榊 そうなんです。パーテンドー
では初めてらしいんですが、神戸市
の技能功労賞をいただきました。そ

のあと今年の9月
には全国パーテン
ダー協会連合会の
特別功労賞までい
ただいてしまいま
した。名古屋と神
戸と京都の3人だ
けだそうです。

瀬戸 榊さんの長
年のお酒を楽しま



神戸に帰って神戸弁を聞くとホッとすると、瀬戸雄三さん



アサヒビールの人たちは明るくて元気がいいと榊夫さん

せる努力が評価されたことはいいこ
とやね。

—神戸生まれでいらっしゃいますよ
ね。

瀬戸 神戸市生田区中山手通りで、
山手小学校、神戸三中ですよ。昔は
みなジェントルマンが多かったね。
あのころは地域の環境とか家々の個
性もあつたから、個性に引かれて学
校へいったけど、今は均等になつて
しまつたね。

榊 僕なんかどんなに個性があるか。

瀬戸 それは、あり過ぎてみんなへ
キヘキしてるよ。ハハハハ。

学生時代に東京の山手線に乗ると
ね、関西弁しゃべるとチャラッとする
んですよ。でも今は東京の人も関西
弁を知ってきて「しんどい」とか関

西弁を使うようになってきたから、
誰もふり向かない、それだけ個性が
無くなつてきた。だから、神戸へ帰
つてきて神戸弁聞いたらホッとしま
すよ。

僕はおやじが貿易やつてたんで、
居留地へよく行つてたんですが、レ
ンクロフォードで買い物をしてね、
イギリスのものがよく手に入る、戦
争中に一番最後にサンドウィッチを
食べたのが、昔のオリエンタルホテ
ル。砂糖が無くなつてきたところで、
オリエンタルでは紅茶に各砂糖が付
くんですよ。お袋につれて行つても
らつたのを覚えてるな。

自慢のサクラのカウンターに 3つの穴

—榊さんは、どうしてこれほどアサ
ヒビールにこだわつたんですかね。

榊 アサヒビールという会社はね、
社員の人の姿勢がいいんでね。瀬戸
さんに似たタイプが多くてね。もつ
とも、瀬戸さんが背後霊のようにい
つも後ろにいるけど。笑

社員が明るくて仕事の話をしてて
もイキイキとしゃべってるしね。



―榎さんも今年の夏は三昧物語ってキャンペーンをやったんですね。

榎 桜の一枚板のカウンターを身を切られる思いで穴開けて、また一基入れたんですよ。

瀬戸 ああ、生ビールのサーバーを立てたわけ！。身を切られる思いをしたけれども、また幹が太くなつて商売繁盛だったんだよね。カウンターを穴だらけにしてしまえよ。(笑)

榎 ベル・ビュー・クリークがよく出ましたよ。何かにつけて不況だったでしょ。だけどベル・ビューだけは例外だったね。あのバルーングラスにチェリー色がオシャレだしね。

貿易商のおやじの血が流れている

榎 うちでも、どこでも飲めるものじゃないですよってお客さんに言うてるんですよ。天下のアサヒさんは、ちゃんといビールを外国から輸入してよそのふんどしで相撲とりはるいうて。(笑)

瀬戸 ふんどしいうたらあかん。何をいうとるんや。(笑) 世界のいいものを扱いましょう。なにも自分とこの技術だけにとらわれることはありませんよと、またうちのいいものはあげましょう。これが神戸人のいい

「トアロードに大東八郎さんがいたハイウェイってあるでしょ。あそこは僕のおやじが行ったところだね。メニュー見てても『ぼん、ぼん。オニオンスープとビステキにしなければ』ってもうそれで終わりや。メニュー見せるのは儀式やねん。あのハイウェイって名前も、戦後に高速道路ができて、ああこれがハイウェイやってわかった。店に機関車の絵があんのよ。僕らハイウェイって機関車のことかなと思ってたよ」と瀬戸さん。「マスターはいつでも表を揃いて水まきしてて、あれが僕らの鏡やったね」と榎さんもなつかしい思い出を語り合う

とこですよ。それが無くなってしまったら神戸の個性は無くなってしまいますよ。

やっぱし、これからはあらゆるものがボールドレスになってきて、国際性がないと企業は絶対に成り立っていかないという時代ですから、ビールの会社も国内だけのことを考えていてはいけない、自ずと海外の企業と手を

組もうじゃないか、海外へ出ていこうじゃないかとなっていくんですよ。そういう時にファースト・イート・スロウ、速きが遅きを食うんです。いいと思つたとき、パツと飛びだし

ていく、この迅速さが大事ですね。―それはお父さんの血を引いてるんですね。

瀬戸 貿易商という。おやじゆずりの血が沸いてきたんやね。居留地のね。何でもやってみようかというのは、そうやね。神戸人のハイカラというのはね、何でもいいことには飛びつこうという、一流に飛びつこうという気持ちがあんのよ。

大ヒット中、アサヒスタイニー

―アサヒスタイニーが復活しましたね。

瀬戸 これが復活したというのは、お客さまの求めるものがだんだん変わってきたんです。お客さまっていうのは情報の増(も)えのなかにいるんですね。そのなかで生活関連の情報っていうのは身近な問題だからいっぱい頭に入ってるわけ。情報をいっぱいもったお客さまというのは自己主張をしてくるんですね。自分の思ったことをドーンと打ちだしてくるんです。自分が得た情報を自分流に編集しなおして、ドンドン発信してくるんです。

―エディターですね。

瀬戸 そうや、エディターや。そのお客さまの発信してくるモノをきちんと受けとめる企業は絶対に栄えるんです。

トム・キャンティが栄えてるのも、お客さまからの発信をきちんと受けとめているんですよ。我々企業も受けとめなければいけないんです。発信しているのを受けとめられない企業というのは感性が悪い。アンテナ



「35周年記念はあまり派手にしないで、40周年があると思ってるから」「そのときまでもたんかもわからんし」「なんでやねん」と瀬戸社長が若い営業マンだったころからのおつきあいのおふたり、齒に衣簾せぬ会話が飛びかう

を高く掲げて感性をよくしないといけない。社員全員が感性のいい会社になろうよっていつてゐるんだけど。

そのなかで、お客さまがビールに求めるモノは、三つあると思います。ひとつは品質、さらに機能性、あとはフアッションなんです。スタイニのなかに入ってるスーパードライは品質もいい、去年は世界のビール市場でナンバー4だったけれども、

今年は世界でナンバー3のブランドになりたいですね。機能性については、フルシュリンクラベルで清潔、王冠が手で開けられるイーजीオーブンキャップ。フアッションは、ビールをビンからダイレクトに飲む。さらにリターナブルのビンですから、環境問題に敏感なお客さまに共感いただけるし、ビンを返せば5円の保証金が戻ってきますからお値頃ですよ。そういった機能を備えれば商品というのには、お客さまからご支持をいただけるんですよ。

榊 僕もなんでもやってみなければ気が済まない人間なんでね、おつちよこちよいみたいで、流行りモノにすぐ飛びつく、先勝ちやという感じで。店を2店目、3店目と変えていったのも、新しい環境で別のタイプの店をつくっていったんですね。

瀬戸 彼らは店に毎日出てお客さまと対話していますよね。わりに他愛ないことをいつているみたいですけども、お客さまが何を望んでいるかを、キャッチしてると思いますよ。ベル・ビユー・クリークもこの店の個性ですよ。トム・キャンティによく似合ってる。よそと同じことを

やってもあかん。昔ながらのいいところを残しつつお客さまのニーズをきちんと取り入れて変えていかないといけないね。

神戸で一番考えなければいけないことは、やっぱり神戸らしいハイカラなこと。何でもやって見ようかという積極性。これは変えてはいけないことですよね。変えることと変えないことのバランスを保つことは街にとつて大事なことです。

ビールのカクテルを広めよう

— トム・キャンティの榊さんがつくるカクテルは特別ですからね。大阪や京都から、榊さんのカクテルを飲みたいといつてくるお客さまがいらつしやいますものね。

榊 それはね、その人にあつたモノを作つてあげるために、初めての人も会話をして、今なにを食べてきはつたかとかコンピューターのように頭の中で組合せて作るんですよ。— ビールを使ったカクテルもいいですね。

榊 昔からあるカクテルには、ジンジャーエールで作るシャンディガフ

とかトマトジュースを入れるレッドアイとかありますよ。

瀬戸 ウン、ウン。スタウトと卵の黄身、ナツメグ、砂糖なんかを入れるゴールデンフィリップ。それに卵の白身だけをいれるシルバーフィリップ。

榊 昔、ゴルフ場なんかではよく飲まれましたよね。

瀬戸 榊さんとこで「今日はちよつと元気がない、ゴールデンフィリップを」なんて広めていつてよ。うちの若い社員なんかでも知らないと思うね。

榊 バスビールエール(アサヒビールが輸入しているイギリスのビール)をトマトで割ると、めちやくちやおいしいレッドアイができるんですよ。瀬戸 いろんなビールのカクテルを榊さん、考えてよ。

榊 いいですよ。ビールのカクテルをぜひ広めましょう。

コエロ／池田年夫

神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて

夢と希望を運ぶ神戸空港

時を経て大きな

実りを 神戸空港

若柳吉金吾

(日本舞踊家)



震災という不慮の災難のため、空港建設が棚上げされたうえ、今になって反対というのは、何か納得し切れぬ思いがあります。専門家諸氏が、あらゆる観点から思考した末、出された建設への結論を、私は尊重したいのです。ここ数年、私は博多の大濠公園能楽堂で舞踊を発表してまいりました。その能楽堂も、建設にあたって県民こぞって不賛成であったとうかがっております。しかし能楽堂は現在能楽や舞踏、音楽会等の催しに活用され、立派に県民文化の場として役立っております。今は不要と思うものも、時を経て大きな実りをもたらしてくれることと、私は信じています。

絵に描いた夢の街

未来都市に

中右 瑛

(抽象画家)



神戸の街には名物が山ほどある。世界一のパール・ブリッジ。異国情緒の風見鶏館、異人館街、南京町。夢風船。で布引山のハーブ園へ。ケープル、ロープウェイでみどりの再度山、六甲山上へ。百万ドルの夜景。潮風薫るウォーターフロントは若者のエリア。ポータータワーのある中突堤、メリケンパーク、ハーバーランド。港めぐりのルミナス、コンチェルト、パルデメルが行き交う。ポーターライナーで国際会議場のあるポートアイランドへ。おしゃれな街に、ないものがひとつある。それはエアポート。テーマパークもあれば、まさに絵に描いた夢の街・未来都市が出現する。

子供達に夢と希望を

荒津正美

(神戸市技能職連合会会長)



明治以降、神戸の街は、世界に開かれた貿易港である神戸港を中心にして発展してきた。しかし、これからは陸・海・空のネットワークによる人・物・情報の交流が世界的な潮流となってきた。今や本格的な空の時代を迎え、空港は飛行機に乗る人だけに役立つものではなく、街に活力と魅力をもたらす必須の都市施設である。以上のことから、市民の一日も早い生活の復興を実現し、産業の振興と雇用の確保を図るため一刻も早い神戸空港の着工を要望する。特に二十一世紀を担ってゆく子供たちのために夢と希望を与えてやりたい。

神戸空港は、時を経て大きな実りをもたらしてくれる。空の玄関口を備えた都市が飛躍するのは世界の定石。“Port of KOBE” “Airport of KOBE” 海・空、二つのポートをもつ神戸の将来性に期待が渦巻く。

”とき“を楽しむ ”時“は最後の贅沢

上根 保

（株）カミネ社長



この春、ジュネーブでの会議が終わったのは六時だった。M・グーテン氏は、「さあ、これからニューヨークで会議だ！」と席を立った。「コンコルドの奴め！」とウインクして親指を立てた。ぼくも「近いうちに！」と手を上げた。彼は会うたびに人間が大きくなる。先日、ドバイの会合で元フランス大統領のジスカールデスタン氏を連れて僕らの会議に加わった。彼は週末もバカンスも僕の数倍楽しんでいる。彼の時間節約術のキーは近くのエアポートにあった。飛行機がこない僕の神戸、その将来像？ 深淵を覗くみたいでゾッとする。情報力も、進取の精神も萎え果てる。

二つのPortの 実現に！

渡邊百合

（株）マギシン社長



「Port of KOBE and Air Port of KOBE」
空・海、二つのポートをもつ神戸の将来性に期待が渦巻く。世界を見渡しても空の玄関口を備えた都市の飛躍は定石である。「外国で日本のどこに住んでいるか」と問われ、「神戸です」と答えるたびに誇りを感じる神戸人。神戸マインド、神戸スピリットを翼に乗せて、全世界へ発信しよう。神戸っ子一人一人が民間外交官になった気持ちで、チャレンジ精神を発揮し、神戸へ人を誘致し、可能性の実現に向けて英知を傾けていくのではないか。

神戸の未来を 神戸空港に託す

永田耕一

（株）永田良介商店社長



震災からの復興を優先しないで何が空港だという考え方があります。確かにそれもひとつの考え方ですが、実際のところどうやって復興をこれ以上に進めていくのでしょうか。震災前に比べて人口も戻っていませんし、この不景気のなか雇用状況はますます悪くなっています。こんな神戸のなかでどのように人口を戻し、雇用を確保していけるのでしょうか。何か今までなかった機能をこの神戸に付加することが必要ではないのでしょうか。それが、神戸空港の役割だと思います。もちろん、どんな空港にしていくなのか広範な議論は必要だと思いますが。

陸・海・空のトランジットに

陸・海・空に
はばたく神戸空港を

花柳芳一

（日本舞踊家）



生粋の神戸っ子の私は、この地を、まず地震がこない、台風も少ない、海と山に囲まれ、これほど住み心地のよいところはないと、自慢してまいりましたが、予期せぬ落とし穴、震災で大変なダメージを受けました。この神戸を華やかな活気のある地域として早く復興させるためにも、空港建設に賛成です。先日ポトアイルランドの中で、拡声器で煩わしく怒鳴っている声に何ごとかと思えば、空港反対の署名運動でした。その場を澄まして通りましたものの、内心穏やかではありません。陸・海・空にはばたく神戸に、一日も早く空港の着工を待っております。

一〇〇年の未来を築く
大きなチャンス

夏目俊二

（劇団神戸代表）



むろん賛成です。宮崎前神戸市長は、最大の失敗は新国際空港誘致の際、反対声明を出したことだったと洩らしておられましたが、都市経営の難しさを如実に語る言葉として、その痛みは忘れられません。神戸空港はアジア最大のハブ空港をめざすべきです。なにより二十四時間フル活動で陸・海・空のトランジットが自在に迅速にできればなりません。二流三流の施設ではつくる意味がないのも同じです。震災は神戸に破滅をもたらしましたが、同時に一〇〇年の未来を築く大きなチャンスをも与えてくれました。表面づらの復旧ではなく、都市再生の絶好機です。大所からの展望を見たいものです。エールを送ります。

神戸空港を
文化の窓口

南 和恵

（画家）



アジア各国を見渡してみますと、空港ラッシュが続いています。二十一世紀の、国境の壁を越えた「空の時代」の到来を予兆させます。かつて、神戸には映画、ジャズなどさまざまな海外文化が水揚げされ、神戸っ子が愛するハイカラ文化を育んできました。阪神・淡路大震災以降、文化が心のケアに大いに役立つことが再認識されました。神戸空港が空の結節点となることで、国内はもちろん世界の文化に接する機会が増えることは間違いありません。神戸っ子の民度を高める意味でも、洗練された文化に出会えることを期待しています。

21世紀は国境の壁を越えた“空の時代”が到来する。神戸空港の誕生は100年の未来を築く大きなチャンス。新しいまちづくりのビジョンと新産業の創出をめざして、一日も早く神戸空港の着工を。

空と海の港街

神戸らしさを未来に

西村隆治

（余の鶴）株社長



二十一世紀は、自然・環境を大切にする、つまり風土を大切にするべき時代です。と同時に街の歴史と個性を大切にする時代でもあります。ハイカラ神戸は、いうまでもなく、幕末の開港以降、港とともに形成されてきました。そして空の港の比重の増す二十一世紀、もし神戸が空にひらかれた港を失うことになれば、間違いなく、神戸の現在の個性、国際性、フアッション性、グルメ都市、おしゃれ感覚等の特徴も消滅することになるでしょう。そして結局は、大阪の住宅地、住宅都市にならざるをえないでしょう。

神戸空港は街を

市民を豊かにする

松田茂樹

（株）MANIX社長



ある程度の“富”を得た現在、経済的豊かさを求めることが、誤った生き方のように語られる。それは、富に偏重することであり、“富”そのものが誤りなのではない。なぜなら、“富”が教育や文化そして福祉を充実させる要因だから。後世に、どのような“神戸”を残すのか。かつて広場（PLAZA）が人々の経済活動の中心であったように、人々の集まる場所に人・物・金・情報の交流が生まれる。陸・海・空、すべての交通手段を備える“神戸”が、歴史に証明されるように、都市間競争の“勝ち組”となり、街を、市民を豊かにする。

二十一世紀の神戸が進化

する都市であるために！

瀬戸口仁三郎

（株）神戸青年会議所副理事長



神戸青年会議所は一九七〇年代から絶えることなく空港の必要性を訴え続け、提言・提案を繰り返してきました。我々は空港をつくることだけを目的として提言をしているわけではありません。空港を絡めた新しいまちづくりのビジョンと新産業の創出を目的としたものです。特に、震災以降依然として下降を続ける神戸経済において、新しい“人・物・金・情報”の循環を図り、街自体を活性化するために、空港は必要不可欠なものと位置づけています。神戸が未来においても神戸であり続けるために、神戸市民に必要な空港の姿を議論すべきと考えます。

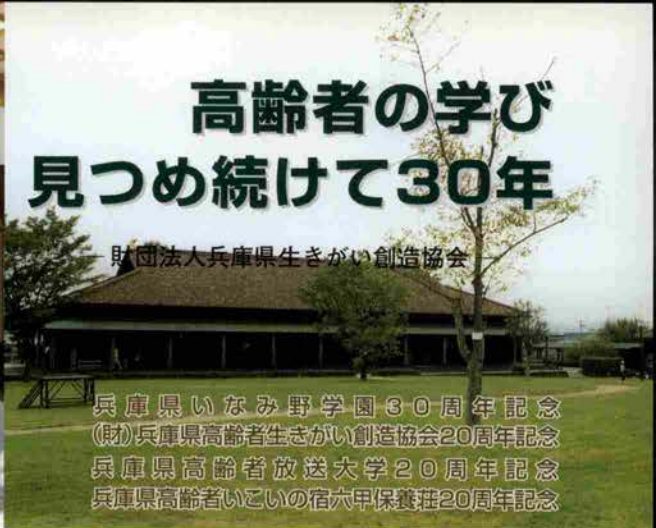
高齢者の学び 見つめ続けて30年

財団法人兵庫県生きがい創造協会

兵庫県いなみ野学園30周年記念
(財)兵庫県高齢者生きがい創造協会20周年記念
兵庫県高齢者放送大学20周年記念
兵庫県高齢者いこいの宿六甲保養荘20周年記念



創立記念合同式典のようす



広々とした敷地のいなみ野学園



馬場茂明氏(神戸大学名誉教授・阪神シニアアカレレッジ学長)による記念講演



▲モニュメント除幕式のようす▲



▲式典にはたくさんの参加者がつめかけた



▲表彰状授与・感謝状の贈呈も行われた



▲モニュメントに刻まれた「惜福」の文字は貝原知事に揮毫をお願いしたものの。幸運を周りにも分け与え大事にするという共生の言葉である



理事長でもある貝原兵庫県知事からの挨拶

★未知への道へつづく

昭和四十四年、兵庫県により、播磨の地に「いなみの学園」はつくられた。日本が、高齢化社会に入る前の年に、高齢者を対象とした学習の場と機会を提供した先見性への評価は今も高い。この頃の平均寿命は、男性六十九歳・女性七十五歳であり、人生七十年時代の幕あけの年でもあった。

いなみの学園の開学を契機に、長生きから長寿への意識が高齢者層の間に浸透しはじめた。そして、すでに成人式を迎えた、高齢者放送大学・指導者養成講座(現地域活動指導者養成講座)並びに今年大人の仲間入りをする高齢者園芸センター・いなみ薬草園・手づくりの店・高齢者陶芸の村と、順次その内容が整っていった。

また、高齢者がふれあいとともにその中で長寿社会の担い手として活動することを支援するため、高齢者生きがい創造協会が創設されて、これまた二十年の歳月が流れた。以下、県内四支部の設置、高齢者総合相談センターの開設等を経て、昨年、阪神シニアアカレレッジが開学したことは記憶に新しい。

いま、三十星霜の歴史の重みを感じつつ、大先輩が築かれた「栄光と伝統」をどう継承し、新しい時代の黎明期を、どう形づくってゆくかが問われている。

節目の年を慶賀するとともに「伝承と飛翔」の中で「交流と共生」の息吹を感じつつ、「未知の世界」へ通じる道を創造してまいりたい。

兵庫県高齢者生きがい創造協会
副理事長 井上正敏

生きがい探しのキャンパス

「高齢者大学」「いなみの学園」を訪ねて

いなみの学園には、さわやかな秋風が吹いていた。広々とした敷地のなか、静かな木もれ日の道を歩いていると、すっかり穏やかな気持ちになった。

ここは、六十三歳以上の高齢者が通う、四年制の高齢者大学で、五十八歳以上の地域活動指導者養成講座（二年制）もある。取材日の午前中は、中央にある大講堂で「兵庫の地場産業・観光」という講義が行われており、多数の人が熱心に耳を傾けていた。しかし、合間に外に出て一服やったり、血圧を測ったりする人もいて、のどかだ。

陶芸教室では、花瓶の制作中だった。作り方や形もいろいろ。漢詩や花の絵を彫り込んだり、抽象的な模様をつけたりと、各人がそれぞれ一生懸命に自己表現しているさまが見てとれた。「なんの取材？どこから来たの？」と皆さんにやさしく声をかけてもらい、嬉しくなる。



木々の間に平屋建ての校舎が点在している



大講堂で熱心に講義をうける生徒たち



陶芸教室では皆が思い思いの作品をつくる

再び大講堂の前を通ると、講義は終わり、歌声が響いていた。

学園長の三木肇さんは、「これだけ広い敷地内に単独で建てられている高齢者大学というのは、全国でも例がないと思います。当初から「高齢者にやさしい」という事が念頭におかれ、木造平屋建てで、電線等も地下埋設されています。」と、いなみの学園の特色を語ってくれた。そして、「六十歳を過ぎてからの人生は、本当の自分の能力をフルに開花できる、人間として最高の時期。過去の肩書きなどにとらわれず、現役時代と違った価値観で、新しい人生をつくっていくと呼びかけています。健康づくり、仲間づくり、社会参加の三つが大きな目標です。特に、社会参加活動を楽しみ、自分自身の生きがいと社会への還元の一助に喜びを見出す事が重要だと考えます。」ということだった。

今後、いなみの学園が目指すものとは、何だろう。「心豊かに、生きがいと感謝を持つ生活を送るお手伝いができればというのが理想です。でもそれは、地球温暖化やダイオキシンなどの環境問題のゆくえと密接に関係している、高齢者が、社会全体を取りまく問題に無関心でいていいわけではない。「同じ状態でいたいのなら、自分が変わ

らなければならぬ」ということをもっとアピールしていきたいですね。」

外に出て、農場に向かうと、突然通り雨が降った。一緒に軒下へ駆け込んだ人に話しかけてみると園芸学科のOBだという。

「入ってきたときは腰が曲がっていた人も、気がついたらそこら辺を走り回っているよ。ここはすごく楽しいし、みんな、「生きがい」ってやつをひっ掴まえようと、必死だからね」

いろいろ話を伺っていると、いつの間にか昼をまわったので、学生食堂へ向かってみた。午後からの教室で仲間と弁当を広げている人も多いようだ。どの教室も大きく窓が開放され、楽しそうなおしゃべりが聞こえてくる。

食堂で定食を頼んで席につくと、さっき陶芸教室にいた人がやって来たが、「午後からまた、忙しいから、もう行かなきゃ」とご飯をかつ込み、すぐにとび出していった。その後を追って、私も駆けていくたくなった。

（本誌・土原）



農園のむこうにマイカー通学者のための駐車場が見える



昼食後、学生食堂の外でくつろぐ姿も